

第6回

塩尻市中学校部活動地域移行等協議会

塩尻市教育委員会

第6回塩尻市中学校部活動地域移行等協議会情報提供資料
【令和8年2月20日（金）】

国及び県の動向について

「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の概要（趣旨・全体構成）

令和8年度から新たに「改革実行期間」がスタートすることを踏まえ、将来にわたる生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会の確保・充実等を図るため、**部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関して、国としての考え方を示すもの**

※公立中学校等が主な対象（「IV 学校部活動の在り方」については、国立・私立を含めた中学校及び高等学校等が対象）

I 部活動改革の基本的な考え方・方向性

- 1 改革の理念
- 2 取組の類型・名称（地域展開・地域連携）
- 3 改革の方向性
 - （1）基本的方針
 - （2）改革期間及び取組方針（休日・平日）
 - （3）留意事項

II 地域クラブ活動の在り方及び認定制度

- 1 地域クラブ活動の在り方
- 2 地域クラブ活動に関する認定制度 ※詳細は別冊資料①を参照
 - （1）趣旨
 - （2）想定される認定の効果
 - （3）認定制度の概要（認定要件・認定手続等）
 - （4）認定されていない地域クラブ活動の取扱い

III 地域展開の円滑な推進に当たっての対応

- 1 推進体制の整備
 - （1）地方公共団体における体制整備
 - （2）国・都道府県・市区町村等・地域クラブ活動の運営団体・実施主体の役割分担
 - （3）地域クラブ活動の運営団体・実施主体による生徒が所属する中学校等との連携
 - （4）関係団体等・大学・民間企業との連携
- 2 各種課題への対応
 - （1）運営団体・実施主体の整備等
 - （2）指導者の確保・育成
 - （3）活動場所の確保
 - （4）活動場所への移動手手段の確保
 - （5）生徒の安全・安心の確保
 - （6）障害のある生徒の活動機会の確保
- 3 生徒のニーズの反映及び地域クラブ活動への参画促進等

IV 学校部活動の在り方

- 1 適切な運営のための体制整備
 - （1）学校部活動に関する方針の策定等
 - （2）指導・運営に係る体制の構築
- 2 適切な指導及び安全・安心の確保
 - （1）暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の根絶
 - （2）合理的かつ効率的・効果的な活動の推進
 - （3）競技ごとの指導手引きの普及・活用
- 3 適切な活動時間・休養日等の設定
- 4 生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備

V 大会・コンクールの在り方

- 1 生徒の大会等の参加機会の確保
- 2 大会等への参加の引率や運営に係る体制の整備
 - （1）大会等への参加の引率
 - （2）大会等の運営への従事
- 3 生徒の大会等の安全確保
- 4 全国大会をはじめとする大会等の在り方

VI 関連する制度の在り方

- 1 教師等の兼職兼業
- 2 教師の人事における学校部活動の指導力の評価等
- 3 高等学校入学選抜における学校部活動・地域クラブ活動の取扱い

別冊資料

- ①地域クラブ活動に関する認定制度（指導者登録制度を含む。）
- ②部活動の地域展開等に関する参考資料

「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の概要（主な内容）

改革の理念等

- 急激な少子化が進む中でも、**将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実**
- 障害のある生徒や運動・文化芸術活動が苦手な生徒等を含め、**全ての生徒が希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備**
- 地域クラブ活動においては、**学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、地域全体で支えることによる新たな価値を創出**

【中間評価】

改革期間

令和5年度～7年度

「改革推進期間」



令和8年度～10年度

「改革実行期間」（前期）

令和11年度～13年度

「改革実行期間」（後期）

取組方針

休日

改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す
※現時点で着手していない地方公共団体においても、**前期の間に確実に休日の地域展開等に着手**
（中山間地域や離島等で地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を推進）

平日

各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進（まずは、国において実現可能な活動の在り方等を検証）

※学校部活動をベースとした地域との連携など、**地域の実情等に応じた多様な改革を進めていくことが重要**

認定制度

競技力向上を主目的としたチーム・スクール等との区別や質の担保等のため、**国が示す要件等に基づき、市区町村等が地域クラブ活動の認定を行う仕組みを構築**

【呼称】「認定地域クラブ活動」 【想定される認定の効果】 公的支援（財政支援、学校施設の優先利用等）、大会・コンクールへの円滑な参加等

【主な要件】 活動時間（平日は1日2h程度以内、休日は1日3h程度以内） / 休養日（週2日以上、休日のみ活動の場合は土日どちらか） / 低廉な参加費 / 指導体制（日本版DBS活用を含めた不適切行為の防止徹底、指導者研修・登録等） / 安全確保 / 学校等との連携

地域展開の円滑な推進に当たっての対応

推進体制

国としての取組方針の提示・地方公共団体への支援・周知広報等 / 都道府県のリーダーシップ / 市区町村等が改革の責任主体 / 専門部署の設置・コーディネーターの配置 / 生徒が所属する中学校等との連携 / 関係団体等・大学・民間企業との連携等

各種課題への対応

①運営団体・実施主体の体制整備等 ②指導者の確保・育成 ③活動場所の確保（学校施設の有効活用等）
④移動手段の確保 ⑤生徒の安全確保 ⑥障害のある生徒の活動機会の確保 ※6項目について具体的な取組内容等を整理

ニーズ反映・参画促進等

生徒等のニーズの把握・反映 / 地域クラブ活動への参加促進のための情報提供等（体験会の開催、入学説明会等でのオリエンテーション、ポータルサイトなどによる一元的な情報提供等） / 生徒のクラブ運営等への参画（生徒同士の話し合いなど）

部活動の在り方

- 適切な運営のための体制整備（部活動に係る方針策定、部活動指導員等の配置や合同部活動の実施、勤務時間管理・業務改善等）
- 適切な指導及び安全・安心の確保（暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の根絶、事案発生時の迅速な対応・再発防止、過度な練習等の防止等）
- 適切な活動時間・休養日等の設定 ● 生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備

大会等の在り方

- 生徒の参加機会確保（地域クラブ活動等の参加促進等） ● 大会等への引率や運営に係る体制整備（教師以外の関係者の参画促進等）
- 生徒の安全確保（熱中症対策等） ● 大会等の在り方の見直し（多様なニーズを踏まえた大会等の開催等）

関連制度

従事を希望する教師等の兼職兼業の円滑化（中学校教師だけでなく小学校教師（体育専科等）や高校・特別支援学校の教師等を含む）
教師の人事・採用での部活動指導力の評価における留意、高校入試における取扱いなど

地域クラブ活動に関する認定制度の概要

認定スキーム

- 国が示す認定要件等に基づき、市区町村等が認定を実施
- 地域クラブ側からの申請を受け、市区町村等において審査の上、認定
認定後も、市区町村等が適切に指導助言等を実施



- ※国が示す認定要件に沿って、市区町村等が自ら運営する地域クラブ活動については、認定したものとみなす
- ※認定の有効期間は、最長3年間の範囲内で、地域の実情に応じて市区町村等において設定

認定要件

事項	主な内容
①活動の目的・理念	・学校部活動が担ってきた教育的意義の継承・発展、生徒の豊かで幅広い活動機会の保障（選抜等を行わず、参加を希望する生徒を幅広く受け入れることを含む）
②活動時間・休養日	・平日は1日2時間程度以内、休日は1日3時間程度以内 ・週2日以上休養日を設定（休日のみ活動する場合は、原則、土日どちらかを休養日に設定）
③参加費等	・活動の維持・運営に必要な範囲で可能な限り低廉な参加費等を設定（国が示す目安を踏まえる）
④指導体制	・暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の防止徹底（日本版DBSの活用を含む） ・市区町村等が定める研修を受講し、登録された指導者等による指導（※） （※）「認定地域クラブ活動指導者」登録制度を構築（研修メニュー例、登録要件・手続等、不適切行為への対応等について規定）
⑤安全確保	・生徒の健康状態や気温等を考慮した適切な活動、施設・設備等の点検、緊急時の連絡体制整備 ・怪我等を補償する保険及び個人賠償責任保険への加入（参加者及び指導者等）
⑥運営体制	・関係法令の遵守、規約等の作成・公表、公正かつ適切な会計処理、営利を主目的とせずに運営
⑦学校等との連携	・活動方針やスケジュール、生徒の活動状況等に関する情報共有 学校からの紹介や体験会の実施 等

月1000～
3000円

（※）円滑な実施の観点から、一定期間の経過措置を設ける（原則として令和8年度末まで）

想定される認定の効果（メリット）

- ①生徒・保護者等に対する市区町村等による情報提供
- ②地域クラブ活動の運営等への公的支援（財政支援、学校施設等の優先利用・使用料減免、学校備品等の活用等）
- ③地域クラブ活動への従事を希望する教師等の兼職兼業
- ④生徒の大会・コンクールへの円滑な参加

本県における部活動地域展開の進捗状況 ～今年度の主な取組と来年度の主な取組について～



産官学連携フォーラム



競技種目別指導力向上研修



まつチャレフェスタ！ 2025



オンラインクラブ活動トライアル事業



中学校部活動地域展開フォーラム



県警との暴力団排除連携協定

1 今年度の主な取組

(1) 信州地域クラブ活動指導者人材バンクの構築 ～県警本部と暴力団排除連携協定の締結～

長野県
警察本部



- 市町村と登録者が直接交渉可能な人材バンクの構築
- 地域クラブ活動の指導協力者における暴力団の排除

スポーツ振興課
文化振興課

(3) 中学校部活動の地域展開フォーラム ～県内外の有識者・関係者による情報交換～



- 持続可能なスポーツ・文化芸術活動の環境の構築について有識者と意見交換
- 県内外から120名の関係者が地域展開について理解を深めた

スポーツ
振興課

(5) 指導者研修会の充実 ～プロチーム・有識者との連携～



- 県内トップアスリート、プロチーム、アスレチックトレーナー等を地域クラブ活動に派遣
- 県内大学教授等政策相s他が指導者研修用コンテンツを制作、指導者養成リーダーを地域クラブ活動に派遣

(2) 信州地域クラブ活動オンラインクラブ活動 ～ICTを活用した遠隔指導実証事業～

スポーツ
振興課



- 中山間地の指導者不足、交通手段確保等の課題への対応
- 全ての子どもたちが多様なスポーツ・文化芸術活動に参加できる事例創出等を検証

(4) まつチャレフェスタ2025！ ～地域クラブ活動体験会の開催～

スポーツ
振興課



- 地域クラブ活動への参加促進のための体験会を開催
- 子どものニーズに応じた多種多様な体験機会を創出。来場者800名

スポーツ振興課
文化振興課

(6) その他



- 指導者募集街頭啓発活動
- 松本大学「信州地域クラブ活動ゼミナル」
- 信州地域クラブ活動応援サポーター制度の創設
- 産官学連携フォーラムにおいて本県ブースの設置



2 本県における地域展開の課題とその対応

課 題



(1) 指導者の確保と質の担保

- 専門的指導ができる人材が中山間地や小規模町村では不足
- ハラスメント防止、救急対応等、指導者の資質の向上が必定



(2) 実施主体・運営団体の確保と責任の所在

- 子どもたちの多様なニーズに応じた実施主体の不足
- 地域クラブを統括する運営団体の不足
- 事故等の賠償責任への危惧



(3) 移動手段の確保と保護者負担の増加

- 広域による地域クラブの移動手段の確保が困難
- 保護者による送迎や交通費の負担増大



(4) 経済的負担の増加

- 地域クラブ活動の参加費（1,000～3,000円/月）が必要



(5) 活動場所の確保と施設管理

- 活動場所の確保が困難
- 学校施設を開放する際、必要に応じた施設改修が必要
- 鍵の開閉、緊急時対応、器具庫の確保等のルール作りが必要

対 応

- ① 信州地域クラブ活動指導者バンクの充実
- ② ICTを活用したオンラインクラブ活動事業の拡大
- ③ 指導者登録制度に準じた指導者研修機会の充実

- ① 市町村訪問支援による広域連携の強化
- ② スポーツ・文化芸術関係団体との連携強化
- ③ 総合型地域スポーツクラブや郡市スポーツ協会との連携
- ④ 法人化とスポーツ・文化法人責任保険の加入推奨

- ① 信州地域クラブ活動ライドシェアモデル事業
- ② ICTを活用したオンラインクラブ活動の充実

- ① 信州地域クラブ活動応援サポーター制度の強化
- ② ガバメントクラウドファンディング「ガちなが」の活用

- ① キーボックス等設置補助（体制整備支援事業）
- ② 事故対応フローチャートの例示や先行事例等の紹介

3 来年度の主な取組



交通
政策課

(1) 信州地域クラブ活動ライドシェアモデル実証事業

移動手段確保の課題対応のため、安全かつ効率的な移動手段として、**地域に根差した公共ライドシェアやボランティア輸送によるモデル実証事業**を通して、地域クラブ活動の環境整備を構築



県スポーツ協会
心の支援課等

(2) 信州地域クラブ活動相談窓口開設事業

持続可能で質の高い地域クラブ活動の構築に資するため、**保護者、生徒、指導者等の関係者からクラブ活動における指導・人権・運営等に関する問題や不安等について、対応可能な相談窓口の構築**



スポーツ振興課
文化振興課

(3) オンラインクラブ活動トライアル事業

中山間地における**専門的な指導者不足**や、**移動手段の確保が困難**といった課題に対応するため、**ICTを活用した遠隔指導**を通して、地域事情に寄らず、子どもたちが多様なスポーツ・文化芸術活動に参加可能な事例を創出



文化
振興課

(4) 文化・芸術活動の地域展開促進

活動場所や楽器の管理に課題を抱える吹奏楽は、**拠点校方式の在り方をモデル事業として実施**する他、**小集団でも可能な多様な音楽活動の機会を創出**する他、美術、技術、家庭科、園芸等、多様文化・芸術クラブを推進



スポーツ
振興課

(5) 地域クラブ活動指導者研修の充実

国は「**認定地域クラブ指導者登録制度**」が創設し、**指導協力者の研修を義務付ける**なか、**市町村に代って研修会を実施**し、中学生期のスポーツ・文化芸術活動における充実・生徒の健全な成長を支援する指導者・協力者を育成



生涯
学習課

(6) 公民館やコミュニティスクールとの連携

既存サークルの合同活動や公民館のリソース（施設、人材）を活かした新たな活動を展開したり、放課後の学校施設に**コミュニティスクールの一環として生徒のサードプレイス（居場所）づくり**と“**放課後リ・デザイン**”を普及



信州地域クラブ活動ライドシェアモデル実証事業



地域展開における移動手段確保の課題対応のため、安全かつ効率的な移動手段として、**地域に根差した公共ライドシェアやボランティア輸送によるモデル実証事業**を通して、地域クラブ活動の環境整備を図る

現状と課題



- 小規模町村が多い本県は、生徒のニーズに応えるため複数自治体が広域連携で地域クラブ活動を設立
令和7年度は、39地区57市町村が国の実証事業に取り組む中、12地区30市町村が広域連携で実施
- 広域連携で取り組む地域の移動方法（いずれも平日の活動は1部のみ）
 - ・南佐久6町村は、JR小海線を利用 → 最も多く利用した生徒は年間3万円程度（町村が負担）
 - ・千曲市・坂城町は、タクシーを利用 → 延べ390回で約250万円（R7迄は国庫10/10で対応）
- **過疎地域は公共交通機関による移動は困難**で、保護者送迎に頼らざるを得ず、その負担感が大きく、**効率的な移動手段の確保が喫緊の課題**



【タクシーで移動する生徒】

低コストで柔軟な送迎サービスを提供する「公共ライドシェア」や保護者の協力による「ボランティア輸送」のモデル実証事業

事業内容



- ① 広域連携により平日の地域展開を推進する自治体に公募しモデル4地区を選定
- ② **運営主体の自治体に、運送車両（ワンボックス10人乗り想定）各2台を県がリース**
- ③ 地区の自治体によって、「公共ライドシェア」or「ボランティア輸送」を選択

公共ライドシェア（自家用有償旅客）

- ・バスやタクシーの輸送手段の確保が困難な地域
- ・運営主体は市町村やNPO法人等
- ・使用車両は自家用車（白ナンバー）
- ・有償（実費の範囲内）による旅客運送
- ・登録要件は、安全対策の確保、地域関係者の協議

ボランティア輸送（無償輸送）

- ・道路運送法による規制なし
- ・運送可能範囲の制限がなし
- ・共助に対するお礼（謝金）は可能
- ・実費（燃料費、駐車料金等）の請求・支払いは可能

自分家の車を使わないから安心

ガイドラインを参考に早期実用化



保護者会で当番制にしたので、送迎負担が軽減

- ④ **道路運送法上の留意点やドライバー・車両の運用等をガイドライン化**（安全体制の構築）
- ⑤ 実績に基づく効率性や費用対効果、利用者満足度などを収集・分析

ライドシェア等の有効性を検証し、他地区への普及拡大の足がかりに

信州地域クラブ活動相談窓口開設事業

目的



持続可能で質の高い地域クラブ活動の構築に資するため、**保護者、生徒、指導者等の関係者からクラブ活動における指導・人権・運営等に関する問題や不安等について、適切かつ迅速に対応可能な相談窓口の構築**

- 学校管理下でない**地域クラブ活動においては、暴力・ハラスメント（人権侵害）等の防止とその対応が課題**
- 国は、市町村が地域クラブ活動を所管し、指導・助言を行う「認定地域クラブ活動制度」が令和8年度から創設
- 現在、市町村（教育委員会）、総合型地域SCや郡市スポーツ（体育）協会・文化芸術団体、県スポーツ協会加盟団体・県文化芸術統括団体、民間・任意団体（プロスポーツチームや企業）等、**地域クラブ活動所管運営団体は、多岐にわたり、保護者や生徒から見て相談窓口が分かりづらい**
- **スポーツ基本法（令和7年度改正）において、暴力等の防止について、国及び地方公共団体は必要な措置を講じなければならないと明記**

（暴力等の防止）

第二十九条 国及び地方公共団体は、スポーツを行う者に対する、暴力、優越的な関係を背景とした言動であって業務上必要かつ相当な範囲を超えたもの、性的な言動（性的な姿態を撮影する行為等の処罰及び押収物に記録された性的な姿態の影像に係る電磁的記録の消去等に関する法律（令和5年法律第六十七号）第二条から第六条までの罪に当たる行為を含む。）、インターネット上の誹謗中傷等（次項において「暴力等」という。）によりスポーツを行う者の環境が害されることのないよう、必要な措置を講じなければならない。

- 本県の地域展開を推進する「長野県地域スポーツ・文化芸術活動推進連絡協議会」において、**多岐にわたる地域クラブ活動における問題や不安等に係る相談をワンストップ窓口として県が設置**し、必要に応じて市町村と連携してヒアリングや現地確認等を実施する方向で検討

地域クラブ活動における指導・人権・運営等に係る問題や不安等に関する専門相談窓口（電話、メール、オンライン、対面等）を設置し、専門知識を有する専任のコーディネーターを配置し関係機関と連携して対応



生徒・保護者

- 指導者からのハラスメント
- クラブ内でのいじめ
- 過度な金銭負担 など



地域クラブ

- クラブ運営ノウハウ不足・保護者対応
- 指導者確保
- 指導者研修会の案内 など



日本スポーツ協会
中央競技団体
県所管課
市町村（教育委員会）
学校
その他専門団体、等

必要に応じて、ヒアリング・現地調査の実施

事業内容



オンラインクラブ活動トライアル事業

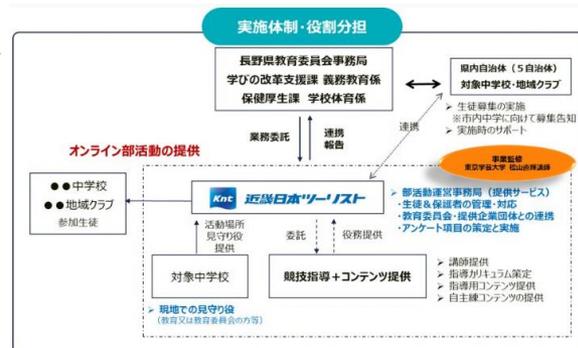
目的

中山間地における専門的な指導者不足や、地域クラブ活動の広域化に伴う移動手段の確保が困難といった課題に対応するため、ICTを活用した遠隔指導の導入を通して、地域事情に寄らず、子どもたちが多様なスポーツ・文化芸術活動に参加可能な事例を創出

現状と課題

- 小規模町村と中山間地が多い本県は、**子どものニーズに応じた活動の専門的な指導者不足が大きな課題**
- 実施主体と指導者不足の課題解消を図るため、R7年度実証事業においては、12地区30市町村が広域連携で取り組む。今後の生徒数減少を鑑みれば、**広域連携の取組がさらに加速することは必定**
- 平日の地域展開を見据えた場合、休日の活動以上に指導者確保がより困難
- 広域連携の地域クラブ活動は、**練習会場までの移動手段確保や費用負担が課題**
- 国は指導者不足を解消するためICTを活用した遠隔指導を推進
- 令和7年度にICT活用オンラインクラブ活動トライアル事業を開始

実施自治体	実施競技	実施主体
御代田町	バスケットボール	信州ブレブウォーリアーズ
長野市	バドミントン	(株)アーシャルデザイン
飯綱町	バドミントン	N T T東日本バドミントン部
小布施町	陸上競技	東京学芸大学陸上部
松本市	ダンス	M H Sヒップホップダンススクール



- 遠隔指導の性質を考慮し、武道やグラウンドで行うサッカー等、**各競技・分野の特性に応じた検証が必要**

事業内容

令和7年度に業務委託して実施した「オンラインクラブ活動トライアル事業」を継続しつつ、武道やグラウンドで行う競技種目を5競技(バレー、剣道、柔道、サッカー、野球)加えた他、美術、家庭科(調理や裁縫)など文科芸術系の分野も含めて効果的な遠隔指導方法の検証を進め、平日の地域展開に向け汎用性を高める

【オンラインクラブ活動トライアル事業による成果と課題の検証視点と方法】

検証視点	検証方法
<ul style="list-style-type: none"> ・自治体、地域クラブ活動との情報共有ツール ・生徒の募集及び保護者説明会 ・生徒の出席管理と保護者への連絡システム ・ICT機器の維持管理 ・指導者の選定と指導プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体、地域クラブ活動へのヒアリング ・遠隔指導場面の視察 ・生徒、保護者、指導者等へのアンケート



認定地域クラブ活動指導者支援事業

6-① 地域クラブ活動指導者養成リーダー出前講座事業

目的

地域クラブ指導者の質の担保が課題に対応するため、国は「認定地域クラブ指導者登録制度」が創設し、指導者・協力者の研修を義務付けるなか、市町村に代って研修会を実施し、中学生期のスポーツ・文化芸術活動における充実・生徒の健全な成長を支援する指導者・協力者を育成

現状と課題

- 専門的な知識をもつ指導者からの指導機会が増え、生徒はより質の高い技術や知識の習得に期待
- 不適切な指導によるケガのリスクや、指導力の不足による生徒の意欲の低下が懸念
- 地域クラブ活動の指導者に求められる専門性（競技・活動の知識）と教育的配慮（生徒指導、安全管理）を両立させるための、体系的な研修制度が未整備
- 本県では地域クラブ活動の指導者や協力者の質の担保を目的に、令和7年度より「地域クラブ活動指導者養成リーダー出前講座」を実施
- 国は、令和8年度より地域クラブ活動の指導者・協力者に研修を義務付ける「認定地域クラブ指導者登録制度」を創設予定だが、市町村が独自で研修会を開催するのは困難

事業内容

県教委が実施する指導者養成リーダー研修を受講した指導者養成リーダーを地域振興局単位（10圏域）に配置し、地域クラブ活動を所管する市町村教育委員会等の運営団体が開催する研修会に指導者養成リーダーを研修講師として派遣し、中学生期のスポーツ・文化芸術活動における充実・生徒の健全な成長を支援



① 指導者の質の向上

適切な指導技術や知識の提供により、スポーツや文化芸術活動の効果が最適化

② 安全管理の徹底

安全管理の重要性や具体的な方法を学ぶことにより、活動中の事故やケガを防止

③ 指導方針の一貫性

地域全体で一貫した指導方針や目標の共有により、生徒にとって一貫性のある学びの場を提供

④ 指導者の意欲向上

指導者の交流や情報共有が促進され、指導者のモチベーションが向上し、地域クラブ活動が活性化

⑤ 地域連携の強化

地域の多様な主体（学校、地域団体、企業等）の交流・連携により、地域全体での協力体制が強化

期待される効果

地域クラブ活動における指導者の「質」の担保に資する

認定地域クラブ活動指導者支援事業

6-② 信州地域クラブ活動指導者用コンテンツ制作事業

目的

令和8年度より国が創設する「認定地域クラブ指導者登録制度」における研修メニューが多岐にわたるとともに、地域クラブ活動の運営団体や実施主体のニーズも多様化することが想定されるなか、専門家が指導者用コンテンツ（プレゼン資料や動画）を制作し、指導者養成リーダー出前講座での活用や信州地域クラブポータルサイトに掲載し、地域クラブ活動の指導者・協力者の質が高まり、安全で安心かつ充実した地域クラブ活動の構築

現状と課題

- 地域クラブ活動における指導者の経験やスキルにばらつきがあるため、一定の水準を担保することが必要
- 学校部活動の意義を継承・発展させるため、人格形成や協働性の育成など教育的意義に係る共通理解が必要
- 緊急時の対処方法をはじめ、各競技に特化した最新の指導法を身に付けることが必要
- 指導者が身に付ける知識や技術は多岐にわたり、専門家に指導者用コンテンツの制作を依頼することが必要
- 指導者に留まらず、地域クラブ活動をサポートする協力者においてもコンプライアンス等の情報提供が必要

事業内容

スポーツ専門大学教授等が構成する長野体育学会、県内プロスポーツチーム、競技団体等に協力を依頼し、地域クラブ活動の運営団体や実施主体のニーズに応じた指導者研修用コンテンツを制作し、指導者養成リーダー出前講座で活用したり、信州地域クラブポータルサイトに掲載したりすることで、地域クラブ活動の指導者・協力者の質を高める

②スポーツにおけるモチベーション理論

モチベーション＝動機づけ＝やる気
 ……人間に行動を起こさせ、その行動を持続してある一定の方向に向かわせる心的な過程

機能

①初発機能・行動を開始する



②志向機能・行動を維持・継続する



③強化機能・行動の再現性を高める



人間に動機づけは、車で言うガソリンの役割
 ……かかるかしないかは動機づけによって決まる



項目	研修メニュー例
地域展開・地域クラブ活動に関する基本的な考え方や仕組み	部活動の地域展開の理念や地域クラブ活動の在り方（認定地域クラブ活動の活動方針等を含む）
指導者としての倫理観・責任感等 人権を尊重した公正な指導	生徒の人格を傷つける暴言・暴力・ハラスメント（性暴力等を含む）の防止 生徒や保護者等の信頼を損なうような行為の禁止 生徒同士による暴言・暴力・いじめ等の防止（性暴力等を含む）
発達段階や多様な実情等の配慮 コミュニケーションを通じた適切な指導	中学校段階の生徒の特徴や配慮事項等 生徒の発達段階に応じた科学的な指導 生徒とコミュニケーションを十分に図ったうえでの指導 女子生徒の健康課題や障がいのある生徒等への配慮
安全・安心な環境確保 事故発生時の現場対応	生徒に対する安全・障害予防に関する知識・技能の指導 事故防止（施設・設備・用具の点検や活動時における安全対策等） 事故が発生した際の現場対応（応急手当、関係機関への連絡等）
保護者とのコミュニケーション 中学校等との適切な連携	保護者との連絡調整等 生徒が在籍する中学校等との連携

公民館の役割



- ① 生涯学習の支援
 - ・教育、学術、文化事業の実施
 - ・趣味、教養、地域課題の解決につながる学習機会の提供
- ② 地域交流の促進
 - ・集う、学ぶ、結ぶを通じて、地域コミュニティの深化
 - ・様々な団体や機関との連絡・連携
- ③ 地域文化・福祉の振興
 - ・住民の生活文化の振興や社会福祉の増進に寄与
 - ・地域の人々の持ち味や能力を生かした地域活動の推進
- ④ 情報提供
 - ・行政からの情報や地域の情報を得るための窓口
 - ・図書、記録、模型、資料などの情報提供

地域クラブ活動の役割



- ① 部活動が担ってきた教育的意義の継承と発展
 - ・人間形成と社会性の育成
 - ・心身の健全な発達
 - ・学習意欲の向上と自己実現
- ② 新たな学びの機会の創出
 - ・学校ではできない多様なスポーツ・文化芸術活動の提供
 - ・地域の方との交流によるコミュニケーションスキルの向上
 - ・地域のヒト・モノ・コトに触れる郷土愛の醸成
- ③ 新たな地域づくりの促進
 - ・地域のスポーツ・文化芸術活動の活性化
 - ・地域の中での連携、顔の見える関係性の向上
 - ・“地域の子どもは学校を含めた地域で育てる”の理念の実現

高い
親密性



地域クラブ活動と公民館の連携は、施設・人材・地域コミュニティの活性化の観点から有効

公民館に期待する地域展開推進の具体

① 活動場所の提供

公民館のホールや会議室、調理室などを地域クラブ活動の活動場所として提供

② 指導者の確保・紹介

地域におけるスポーツ、文化芸術、生涯学習の指導人材を地域クラブ活動の指導者に照会・斡旋

③ 地域とのコーディネート

公民館の有する地域団体や住民とのネットワークを活かし、地域全体で子どもたちの活動を支える仕組みづくりの構築

④ 多様な活動機会の創出

従来の公民館講座やイベントを発展させ、異なる世代が参加できる多様なスポーツ・文化芸術活動機会の提供

(連携事例)

富山県黒部市

コミュニティ施設として音楽室や体育館などを地域に開放し、生涯学習活動の場として活用

(連携事例)

長野県茅野市

中央公民館が文化芸術関係の指導者を紹介、文化芸術団体と連携し、各種講座に中学生を受け入れ

⑤ 情報共有の拠点

地域クラブ活動、学校、地域の活動スケジュールや連絡事項等を集約し、情報共有の拠点



全国1位の公民館数(1,789館)を誇る本県。また、自治公民館の活動も活発で、このリソースを活かしたい。ずら。

公民館に期待する地域展開推進の具体（案） ～可能性を具体的にすることで新しい公民活動の一步に

① 既存サークルと合同活動

サークルや高齢者クラブの知見活用

具体案①「地域の達人に学ぶ講座」

内容：将棋、茶道、手芸、料理などの公民館既存サークルに、生徒が参加
メリット：生徒は地域の専門家（高齢者等）の指導を受けるとともに、世代間交流の促進



具体案②「郷土芸能伝承講座」

内容：郷土芸能（太鼓、神楽など）の活動を、公民館を拠点と保存会が地域の生徒に伝承
メリット：地域文化の継承と、生徒の地域への愛着形成（シビックプライド）に寄与

② サードプレイス（子どもの居場所）としての活用

学校外の活動拠点の位置付け

具体案①「放課後学習支援&地域クラブ活動ハイブリッド講座」

内容：「宿題・自習タイム」を設けた後、ホールや調理室でサークル活動を実施
メリット：子どもの居場所づくりと保護者の安心感が高揚、学習と趣味の両立、仲間との交流の促進

具体案②「ユニバーサルスポーツ講座」

内容：学校には設備がないポッチャやモルックなどの「ゆるスポーツ」の拠点を公民館に設置
メリット：運動が得意でない生徒や、文化部と運動部の中間を求める生徒の受け皿になる可能性

③ 地域行事との一体化

生徒発表の機会を地域へシフト化

具体案①「公民館行事（地区文化祭）への参画」

内容：吹奏楽、美術などの発表・展示を公民館行事（文化祭）のメインコンテンツの一つに
メリット：生徒は地域の方の反応がモチベーションに、公民館は、若者の集によりイベントが活性化

具体案②「地域課題解決プロジェクト（探究学習との連携）」

内容：パソコンや美術が得意な生徒が、公民館広報や高齢者向けスマホ教室をお手伝い
メリット：地域クラブ活動が地域社会貢献活動をする生徒の自己肯定感が高揚

④ 新たな形態の活動の創出

公民館特有の柔軟な活動の実現

具体案①「マルチスポーツ活動&多様なスポーツ・文化芸術活動講座」

内容：今週はヨガ、次週はポッチャ、再来週は料理など、多様な公民館講座を体験するクラブ活動
メリット：多種多様なスポーツ・文化芸術活動を楽しみたい生徒のニーズに対応

長野県教育委員会としての支援

- ① 域内の市町村教育委員会や中学校と公民館の間に入って調整を行うコーディネート
- ② 講座開設等の運営マニュアルの作成や保険加入等の相談支援
- ③ ユニバーサルスポーツの道具等の貸与



令和7年度

塩尻市様 地域展開事業受託実績報告

塩尻市様基本情報

面積	289.98 km ²
人口	65600 人
公立中学校数 (義務教育学校の 後期課程含む)	6 校
公立中学校生徒数 (義務教育学校の 後期課程含む)	1530人
部活動数 (運動部活動のみ)	35
地域クラブ活動数	2
市区町村の協議 会・検討会議等 の設置状況	設置済
市区町村の推進計 画・ガイドライン等 の策定状況	策定済

地域連携・地域展開受託におけるR7年度活動

■ 塩尻市様の状況分析と意向の確認

- ・すでに塩尻市・塩尻市教育委員会を中心に、自治体独自で協議会を設置済み
- ・協議会での打ち合わせを年2回程度されており、市としての方針策定を完了の状況
- ・方針に沿った具体的な計画の策定と実行に向け、運営支援を委託することで検討頂いている状況
- ・地域展開に向けた全体構想設計は完了していないことと、学校・部活・地域のヒヤリングが終わった段階で具体的な推進モデルの設計や、計画策定には至っていない
- ・他自治体の運営体制を参考にされており、市及び教育委員会の傘下に、運営事務局を設置、直営型クラブや登録制クラブ（自主運営型クラブ）をまとめる形を構築する意向を示される
- ・上記観点で、検討が必要な項目として以下の懸念事項を持たれている
 - ✓ 運営元
 - ✓ 指導の計画と実施
 - ✓ 保険加入の必要性
 - ✓ 指導者研修手段の確立
 - ✓ 指導者報酬の設定
 - ✓ 活動場所の設定
 - ✓ 参加費等の徴収に関する事項

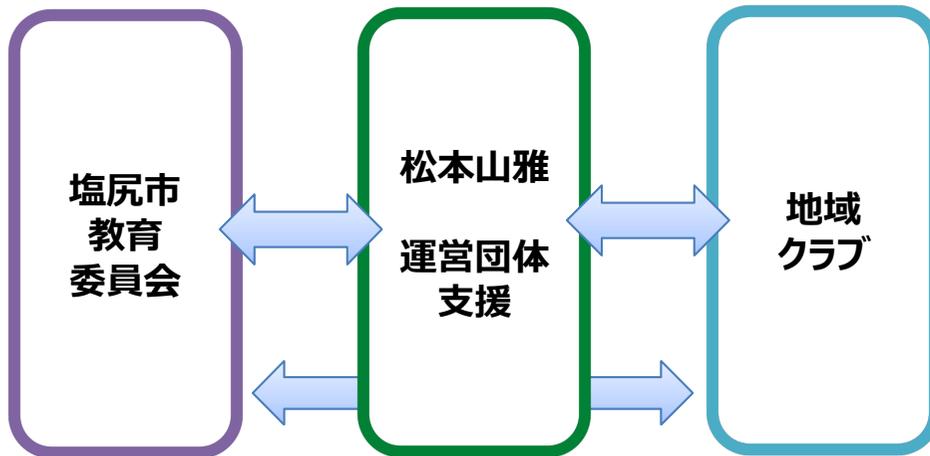
■ ・塩尻市様がすでに計画された“移行計画書”に沿って、弊社で対応可能な領域を精査

■ これらの現状と塩尻市様の課題を再調査した上で、R7年度に弊社より提案

■ 提案のフィードバックを受けて構想モデルの策定と、具体的な検証計画に沿って実施

運営体制・役割

● 推進体制図



● 役割分担

◎ 塩尻市及び教育委員会

- ・国・県の情報をもとに、塩尻市の地域展開に関する全体を統括
- ・学校・教員・生徒・保護者の意向を分析し方針を決める

◎ 松本山雅（運営団体支援）

- ・塩尻市及び教育委員会の意向を受けて、全体構想設計と計画の策定と実行
- ・民間企業の連携体制を構築し、自治体及び地域クラブを支援

◎ 地域クラブ

- ・地域展開の核となり、将来の部活動を担う社会教育機関としてのクラブ体制構築と運営

年間の事業内容

- ・左図体制における定期ミーティングの実施（1回/月）
- ・塩尻市協議会への参画（1回/半期）
- ・合唱部指導者候補との面談
- ・ソフトテニス部検討部会への参画（1回/半期）
- ・小中体連研修会への参画
- ・地域展開モデルの設計支援
- ・ICT導入計画の策定と地域クラブ導入支援
- ・アプリケーション運用開始とサポート
- ・Webポータルサイト構築要件定義
- ・Webポータルサイト設計
- ・Webポータルサイト作成及び実装

塩尻市の目指すすがた：塩尻モデルの策定

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・塩尻市の意向を反映させた、地域展開の目指す姿を策定
- ・関連するステークホルダーを分析し、自治体と企業の連携によって地域に寄り添った運営を支援することが可能な塩尻モデルの構想を策定
- ・塩尻市を核とし、塩尻市教育委員会、企業連携が対象クラブを支援する体制の構築を目指す
- ・企業連携は運営のノウハウ、塩尻市教育委員会は教育のノウハウを提供
- ・上記に加えて、ICT/DXの導入支援、指導ノウハウの提供、安全安心な環境構築支援を行う構想

取組の成果

- ・地域展開に関わる協議会参加者、関連する企業様、各スポーツ・文化団体とのコミュニケーションの際に策定したモデルで説明することで、それぞれのマインドセットが効率良く行えた
- ・マインドセットが出来たことによって、議論が発散せずに目指す姿からそれぞれの立場において目的が明確になることで、手段の検討を加速することができた



塩尻モデルの展開方針策定

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・塩尻モデルをもとに、塩尻市に関連する学校・部活動・地域クラブ等の関連するステークホルダーを、それぞれ運営団体と実施主体と位置づけ役割を明確化した上で活動の展開方針を策定
- ・従来の部活動や地域活動をつなぎ、競技単位で核となる運営母体を構築
- ・生徒を起点とし、地域事情に合わせたクラス編成や運営改善を可能とする持続可能な環境を創出させる

取組の成果

- ・展開の方針を明確にしたことによって、生徒・保護者からの部活動が無くなることや、今後の学校生活の変化に対する不安が払拭された
- ・部活動が無くなるわけではなく、少子化による運営の限界や地域の事情、さらには地域環境に合わせた活動に展開することで、生徒たちがいままで以上に挑戦できる環境を創り上げていくことを共有したことで、保護者や教職員と建設的な議論が可能となった

塩尻モデル | 部活動展開方針（案）



従来の部活動や地域活動をつなぎ、競技単位で核となる運営母体を構築
生徒を起点とし、地域事情にあわせたクラス編成や運営改善を可能とする持続可能な環境を創出



塩尻モデルを効率的に推進するICT環境設計

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

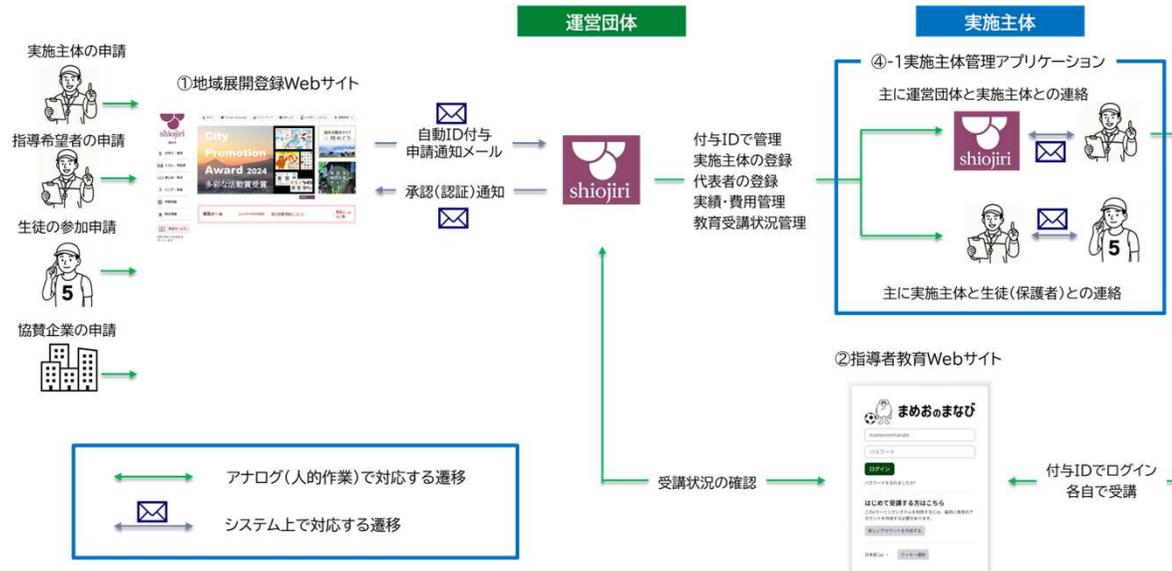
取組事項

- ・塩尻モデルを将来に渡って持続可能な運営を行うために、デジタルを活用した効率的なICT環境（運営支援ソリューション）の構想設計を実施
- ・関連するクラブ、指導者、生徒を一元管理し、運営団体と実施主体がシームレスでつながることで連携を強化させる
- ・クラブ管理アプリケーションとも連携させ、実施主体の運営をデジタル技術でサポート、人的対応を極力削減することで支援を目指す
- ・コンプライアンス等指導者の教育機能とも連携させることで、関連する実施主体に参加する生徒に安全安心な環境の提供を目指す

取組の成果

- ・塩尻モデルの延長でICT環境設計を行ったことで、塩尻モデルに参画するステークホルダーが効率よく運営可能な状態を明確にすることができた
- ・全体構想設計によって、今後の具体的な施策や計画立案が可能となった
- ・また自治体の役割、運営の役割も整理され、不足を補う連携等の検討が可能になり、企業等の連携に対する目的や手段を明確に示せるようになった

運営支援ソリューション



実施主体のヒヤリングと先行検証団体の選定

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・ソフトテニス部検討部会への参画し、多様な関係者の利害や視点の違いを調整するため、理解醸成や合意形成を実施
- ・対象となる実施主体の運営状況を確認し、今後提示される認定制度に備えて効率的な運営支援の方法を提示
- ・既存の活動を地域活動へ単に移行するのではなく、既存活動を基本として展開方法についてを共に検討
- ・先行展開実施主体の選定と、ICT環境導入検証の実施

取組の成果

- ・松本山雅が運営団体を支援する機能について、概ね理解をいただくことができた
- ・クラブの育成方針を再整理し、普及的な活動と強化活動を分離して検討する方向性で概ね合意ができた
- ・企業連携パートナーから提供されるサービス内容に一定の理解をいただき、運用について前向きなコメントをいただいた
- ・先行実施主体へのICT導入検証によって、団体指導者及び保護者登録に関する課題抽出ができ、改善策の検討を行うことができた

ICT導入検証を行った先行展開実施主体

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	参加者	実施期間	指導者数
塩尻市 丘クラブ	地域スポーツクラブ	バトミントン	39名	2025年10月～	2人

ICT環境を活用した実施主体との運営検証

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

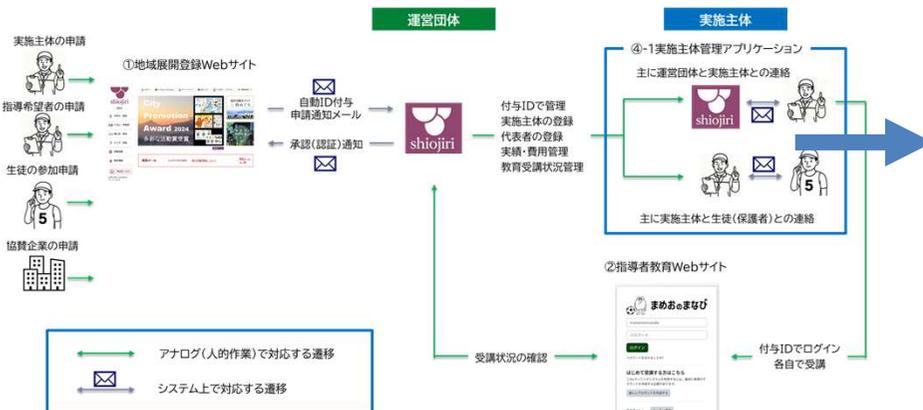
取組事項

- ・ICT環境の全体構想設計から、実施主体の運営管理のDX化を推進
- ・塩尻市内のクラブから先行団体を選定し、アプリケーションを導入
- ・導入に対する保護者説明会や、指導者説明会を実施
- ・導入フローを策定し、登録から運営活用までを計画化
- ・生徒登録、保護者登録等、導入に関する課題を抽出

取組の成果

- ・構築予定のICT環境全体構想の一部ではあるが、先行導入検証を行ったことで全体構想の有効性を確認できた
- ・保護者のITリテラシーが懸念されていたが、90%以上の保護者がアプリケーションインストールや活用について抵抗がないことが確認された
- ・登録等、事務的作業の負荷工数の見極めができたことにより、継続して構築する他機能へのフィードバックが可能となった

運営支援ソリューション



The screenshots show the user interface of the '運営支援アプリケーション' (Operational Support Application). Key features include:

- Club Management (クラブ管理):** A table listing clubs with columns for ID, date, name, and status.
- Operational Management (運営管理):** A calendar view showing monthly activities and events.
- Message Board (通知メッセージボード):** A list of notifications and messages.
- Navigation Menu (マイメニュー):** A bottom navigation bar with icons for membership management, announcements, contact, training, staff management, calendar, and results.

指導者の質を担保するICT環境との連携

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

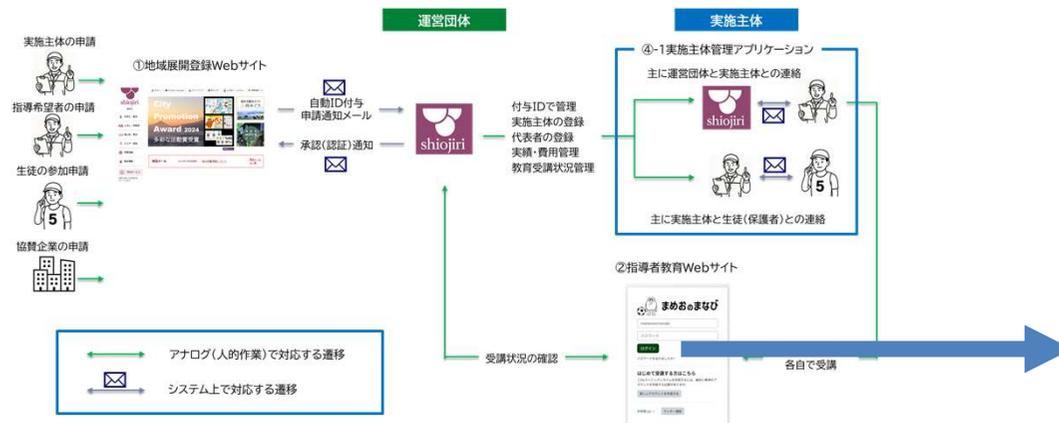
取組事項

- ・塩尻モデルで設計されたICT環境に、指導者教育機能を連携させ指導者の質を担保するeラーニングの仕組みを構築
- ・コンプライアンス・ハラスメント・安全・安心管理を、親しみやすいコンテンツによって分かりやすく学習する構成を採用、テスト機能によって正解率100%になるまで繰り返し学習が必要なため、確実に学ぶ環境を構築
- ・過去の受講履歴、テスト結果の管理と、次回実施が必要な時期の把握が可能で受講者管理機能で持続的に指導者の質を担保する

取組の成果

- ・教育コンテンツは、学術的な内容ではなくアニメ等を活用した親しみやすい表現にすることで、学びやすい構成で理解を深めることができた
- ・受講内容（時間）は、20分程度で受講終了できるため、指導者に大きな負担を掛けずに構成を作り上げることができた
- ・各項目で受講テストが必須となり、正解率が100%になるまで完了しないため、なりすましの学習を排除することができる
- ・管理機能によって、塩尻市で認定する指導者の質を管理することができた

運営支援ソリューション



※受講コンテンツ

- はじめに
 - 部活動の地域連携と地域展開
 - 指導者としての3つの視点
- コンプライアンス
 - 思春期の発達特性
 - 地域活動における法的責任
 - 【テスト】コンプライアンス
- ハラスメント
 - 各種ハラスメントの概要
 - 性的マイノリティや障がい...
 - 子供たちとのコミュニケー...
 - 【テスト】ハラスメント
- 安全管理
 - 安全な活動環境／事故防止...
 - 事故の予防方法
 - 事故等が発生した時の対応...
 - 【テスト】安全管理
- おわりに

※コンテンツ事例：ハラスメントの概要

ハラスメントの概要

ハラスメントとは、相手の人格や尊厳を傷つける行為であり、受け手が不快に感じることで成立します。これは、加害者の意図にかかわらず、受け手が精神的・身体的に苦痛を感じた時点で問題となる事象です。



教育や指導の現場では、「指導の一環」「伝統的なやり方」と称してハラスメントが正当化されるケースが散見されるも事実です。しかしながら、参加者は中学生で、年長的に自己表現が未熟であり、指導者に対して反論することが難しい立場にあります。そのため、指導者自身が自らの言動を振り返り、相手の受け取り方に配慮することが強く求められます。

※テスト受講結果

あなたの受験結果

受験 2	受験 1
ステータス: 進行中	ステータス: 終了
開始日時: 2025年 09月 25日(水曜日) 14:22	開始日時: 2025年 09月 2日(火曜日) 16:06
完了日時: 2025年 09月 2日(火曜日) 18:32	完了日時: 2025年 09月 2日(火曜日) 18:32
継続時間: 2時間 25分	継続時間: 2時間 25分
得点: 10 / 10 (100%)	得点: 10 / 10 (100%)
レビュー	レビュー

民間企業との運営支援連携

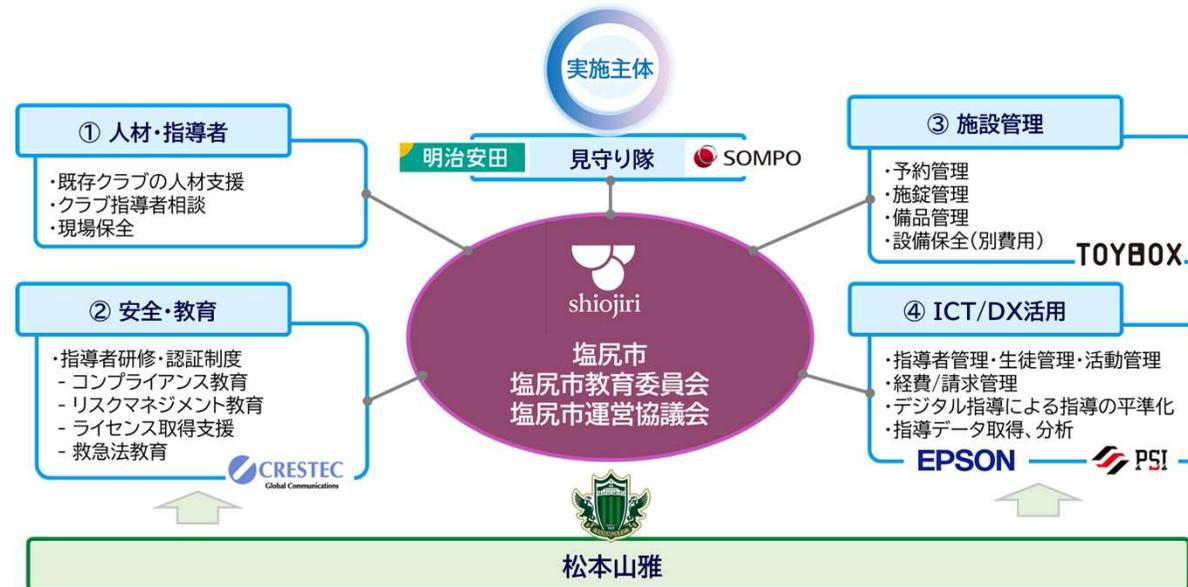
●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- ・松本山雅のステークホルダーとなる関連民間企業との連携支援体制を構築
- ・塩尻市を中心とした運営団体への支援から、地域の実施主体へと支援内容を拡大して充実した支援連携体制を設計
- ・必要な支援内容を分析し、参画する民間企業の強みを活かした支援内容を策定し、各社が自立して支援ができるよう設計
- ・運営だけではなく、人材確保・指導、ICT環境の導入、施設管理、実施主体が安全かつ効率良く運営可能な内容を提供

取組の成果

- ・運営団体に必要な機能、実施主体に必要な機能を明確にすることができ、持続可能な地域環境を創り上げる基礎を設計することができた
- ・民間企業のノウハウを最大限に活用できる支援内容を明確にできた
- ・連携企業と必要機能を共有することで、各社からの提案を受けることができより充実した支援内容の策定につなげることができた
- ・運営だけではなく、参加する生徒の視点にたった内容に充実することができた



塩尻モデルの名称決定

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

- ・生徒・保護者が中心となる地域展開を意識付けるための名称を決定
- ・塩尻市のイメージを中心に、建設的で将来性のある名称候補を立案
- ・既存中学の在校生アンケートから名称を決定

取組の成果

- ・地域展開の目的や目指す姿の浸透を進めることができた
- ・既存在校生のアンケートによって決定したことで、それぞれが自分ごととして考える場を与え、不安を払拭するとともに将来へに期待につなげることができた
- ・塩尻市の目指す姿を言語化することで、生徒・保護者・教員・地域企業と関わるステークホルダーのマインドセットが可能となった

提案名称候補案

塩尻ing
シオジリング

ミライナ塩尻
ミライナシオジリ

アレ！塩尻
アレシオジリ

塩尻ゲートウェイ
シオジリゲートウェイ

クラカツ！
クラカツ

ミナカツ！
ミナカツ

決定名称

ネクスト  しおじり

塩尻市の取り組みが将来に渡って飛躍する
ネクストが次に来る何かを考えることでワクワク感を与える
矢印を右上に伸ばすことで、将来へい橋渡しをイメージさせる

塩尻モデル発信の核となるWebポータルサイトの設計と構築

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

- ・塩尻市の地域展開発信の核となるWebポータルサイトの設計と構築
- ・参画する、生徒、指導者、実施主体、企業それぞれにメッセージを発信
- ・分かりやすく、親しみやすいデザインとし、地域展開が取り巻く関係者で守られている印象を与える内容で構成
- ・単なるWebページではなく、IDの自動付与等、登録者の管理機能を保有し運営の合理化を可能とする
- ・申請は、認定に必要な内容を自己申告による許諾する等の機能を保有

取組の成果

- ・塩尻モデルを合理的に運営可能とするICT環境と連携させているため、管理機能の人的工数を削減できる
- ・塩尻市の顔となる専用のポータルサイトのため、情報の発信や集約が可能となった
- ・明るいイメージでデザインされているため、市民に親しみを持って頂けた
- ・登録機能は、ガイドラインに沿った認定機能を保有しているため、効率よく運営支援が可能となった

Webポータルサイトの全体構成



1ページ目

- ・塩尻市の取り組み全体像
- ・お知らせ
- ・クラブ紹介
- ・募集
- ・FAQ
- ・企業広告
- etc.・・・

2ページ目

- ・生徒申請フォーム

3ページ目

- ・指導者申請フォーム

4ページ目

- ・クラブ申請フォーム

5ページ目

- ・企業協賛申請フォーム

6ページ目

- ・問合せフォーム

Webポータルサイトデザイン



活動内容



募集



総括・成果の評価・今後に向けて

● 総括

- ・すでに塩尻市・塩尻市教育委員会を中心に、自治体独自で協議会を設置されており、議論が進んでいたことによって、私たちの役割が明確になることで対応することができた。
- ・受託後の連携当初は戸惑うこともあり、一部ご迷惑をお掛けした場面もあったが、方針に沿った具体的な計画の策定と実行に向け計画通り推進できた
- ・塩尻市様が想定している運営体制を参考に、市及び教育委員会の傘下に、私たちの体制を組み込むことで効率良く連携することができた
- ・上手く連携させて頂くことが出来た結果、私たちが想定している課題解決についても微調整を行いながら推進することができた
- ・全体の構想設計から、地域展開の基礎となるICT環境の設計と構築についても計画通り推進することができた
- ・構築した基礎について、設定頂いた地域実施主体と検証をおこなうことができた

● 成果の評価

- ・全体構想と具体的な設計を推進したことで、下記を完了
 - ✓ 塩尻市の地域展開モデルの構想設計
 - ✓ 目指すすがたと展開方針の策定
 - ✓ 民間企業を巻き込んだ支援体制の構築
 - ✓ 先行実施主体団体とのICT導入及び支援に関する検証
 - ✓ 全体構成をもとに、各費用シミュレーション環境の構築と試算結果の情報提供
 - ✓ 情報発信の核となるWebポータルサイトの設計と構築
 - ✓ 進捗に合わせた協議会報告資料の作成と一部会議への参加

● 今後に向けて

- 次年度受託が可能となった場合、下記継続してご支援をさせていただきます
- ✓ Webポータルサイトの運営・保守
 - ✓ 全体管理の支援
 - ✓ 先行実施主体の平日展開計画の策定
 - ✓ 先行展開事例の水平展開計画の策定と支援
 - ✓ 実施主体へのICT導入と運営支援

1 種目別地域移行検討会と 各学校の入学説明会のスケジュールについて

各種目別地域移行検討会スケジュール（第4回）

各学校の入学説明会（保護者向け）スケジュール

種目	日付	種目	日付
ソフトテニス	10月22日(水)	サッカー	12月15日(月)
陸上	11月21日(金)	吹奏楽	12月17日(水)
バスケットボール	11月26日(水)	卓球	12月19日(金)
バレーボール	11月28日(金)	バドミントン	代表者と 検討開始
剣道	12月10日(水)	合唱	顧問と個別で 調整
軟式野球	12月12日(金)		

学校	日付	備考
塩尻中学校	1月19日(月)	
塩尻西部中学校	1月19日(月)	
丘中学校	1月23日(金)	
広陵中学校	1月23日(金)	
檜川小中学校	学校長が説明	
両小野中学校	2月27日(金)	両小野小学校にて

2 種目別地域移行検討会の目的

1-① 入学説明会で保護者へ示すための方針確認

広報しおじり12月号特集記事から抜粋

令和8年度以降の休日活動の方向性

方向性	競技種目	構築される中学校や地域クラブなど
合同部活動	バスケットボール	○塩尻・丘・両小野中学校 ○広陵・塩尻西部・榑川小中学校
	バレーボール	○丘・広陵中学校 ○塩尻・塩尻西部・両小野・榑川小中学校
	軟式野球	○丘中学校 ○塩尻・広陵・塩尻西部・両小野・榑川小中学校
	サッカー	○塩尻・丘・両小野中学校 ○広陵・塩尻西部・榑川小中学校
既存地域クラブ活動に参加	ソフトテニス	桔梗ソフトテニスクラブ
	バドミントン	丘クラブ
	卓球	FINE、ならかわクラブ
	陸上	塩尻AC
検討中	剣道	新たな地域クラブの立ち上げを検討
	吹奏楽	合同部活動を実証
	合唱	合同部活動を検討

2 種目別地域移行検討会の目的

2-①それぞれの実施主体の代表者の選出

令和8年度以降の休日活動の方向性

方向性	競技種目	構築される中学校や地域クラブなど
合同部活動	バスケットボール	○塩尻・丘・両小野中学校 ○広陵・塩尻西部・榎川小中学校
	バレーボール	○丘・広陵中学校 ○塩尻・塩尻西部・両小野・榎川小中学校
	軟式野球	○丘中学校 ○塩尻・広陵・塩尻西部・両小野・榎川小中学校
	サッカー	○塩尻・丘・両小野中学校 ○広陵・塩尻西部・榎川小中学校
既存地域クラブ活動に参加	ソフトテニス	桔梗ソフトテニスクラブ
	バドミントン	丘クラブ
	卓球	FINE、ならかわクラブ
検討中	陸上	塩尻AC
	剣道	新たな地域クラブの立ち上げを検討
	吹奏楽	合同部活動を実証
	合唱	合同部活動を検討

運営
団体

しおじり地域クラブ運営事務局
学校教育課・社会教育スポーツ課・(株)松本山雅

実施
主体

チーム名：塩尻A
代表者：○○ ○○
主な練習会場：○○中学校

実施
主体

チーム名：塩尻B
代表者：○○ ○○
主な練習会場：○○中学校

運営
団体

【実施主体が求める運営支援】

指導者派遣【研修含む】、指導者謝金支払、大会登録、会計管理、備品・消耗品の購入、保険加入、会場確保など

実施
主体

【現場の活動に専念】

指導、連絡調整(アプリ利用)、安全管理など

2 種目別地域移行検討会の目的

2-②それぞれの実施主体の代表者の選出

部活動地域展開 休日活動場所の利用調査表

R7.12.25時点

A 学校体育館

種目	連番	団体名	休日の形態	代表者1	代表者2	役職・肩書	休日活動希望会場	学校以外の活動希望施設	部員数	指導者数	頻度/月
男子バレー	1	丘・広陵	合同部活動			協会総務委員長	広陵中学校		45	3	4
	2	塩尻・塩尻西部・櫛川・両小野	合同部活動			指導普及委員長	塩尻中学校		16	3	4
女子バレー	3	丘・広陵	合同部活動			協会副会長	広陵中学校		39	3	4
	4	塩尻・塩尻西部・櫛川・両小野	合同部活動			協会理事長	塩尻中学校		22	3	4
男子バスケ	5	広陵・西部・櫛川	合同部活動			顧問	広陵中学校		51	3	4
	6	塩尻・丘・両小野	合同部活動			顧問	塩尻中学校		50	3	4
女子バスケ	7	広陵・西部・櫛川	合同部活動			顧問	広陵中学校		34	3	4
	8	塩尻・丘・両小野	合同部活動				塩尻中学校		36	3	4
剣道	9	丘	合同部活動			顧問	塩尻、丘、広陵中学校		67	3	4
バドミントン	10	丘クラブ	地域クラブ活動			部活動指導員・外部指導者	丘中学校		50	3	4
卓球	11	FINE	地域クラブ活動			外部指導者		市立体育館	43	3	4
	12	ならかわスポーツ少年団	地域クラブ活動			部活動指導員		公民館	15	3	4

B 学校校庭

種目	連番	団体名	休日の形態	代表者1	代表者2	役職・肩書	休日活動希望会場	学校以外の活動希望施設	部員数	指導者数	頻度/月
サッカー		総合型スポーツクラブ	運営団体			アンテロープ		中央スポーツ公園			
	1	塩尻・丘・両小野	合同部活動			顧問	塩尻中学校		34	3	4
	2	広陵・西部・櫛川	合同部活動			顧問	塩尻西部中学校		28	3	4
軟式野球		オール塩尻	(地域クラブ活動)			保護者		市営球場			
	3	塩尻・広陵・塩尻西部・両小野	合同部活動			顧問	塩尻西部中学校		41	3	4
	4	丘	合同部活動			顧問	丘中学校		20	3	4
陸上	5	塩尻AC	地域クラブ活動			顧問	広陵中学校	歯科大	62	3	4
ソフトテニス	6	桔梗ソフトテニス	地域クラブ活動			桔梗ソフトテニス		中央スポーツ公園	50	3	4

C 学校校舎内

種目	連番	団体名	休日の形態	代表者1	代表者2	役職・肩書	休日活動希望会場	学校以外の活動希望施設	部員数	指導者数	頻度/月
吹奏楽		オール塩尻	(地域クラブ活動)								
	1	丘	単独部活動			顧問	丘中学校		26	2	4
	2	塩尻・両小野	合同部活動			顧問・部活動指導員	塩尻中学校		44	3	4
	3	西部・櫛川	合同部活動			顧問	塩尻西部中学校		43	3	4
合唱	4	広陵	単独部活動			顧問	広陵中学校		20	2	4
	5	広陵	単独部活動			顧問	広陵中学校		19	2	4

3 代表者説明会の目的

- (1)文部科学省新ガイドラインと地域クラブ活動認定制度についての周知
- (2)認定地域クラブ活動に対する支援についての周知
- (3)学校施設優先利用に向けた検討・準備
- (4)利用希望が多い学校施設の個別調整 ※対象ではない方は退席可



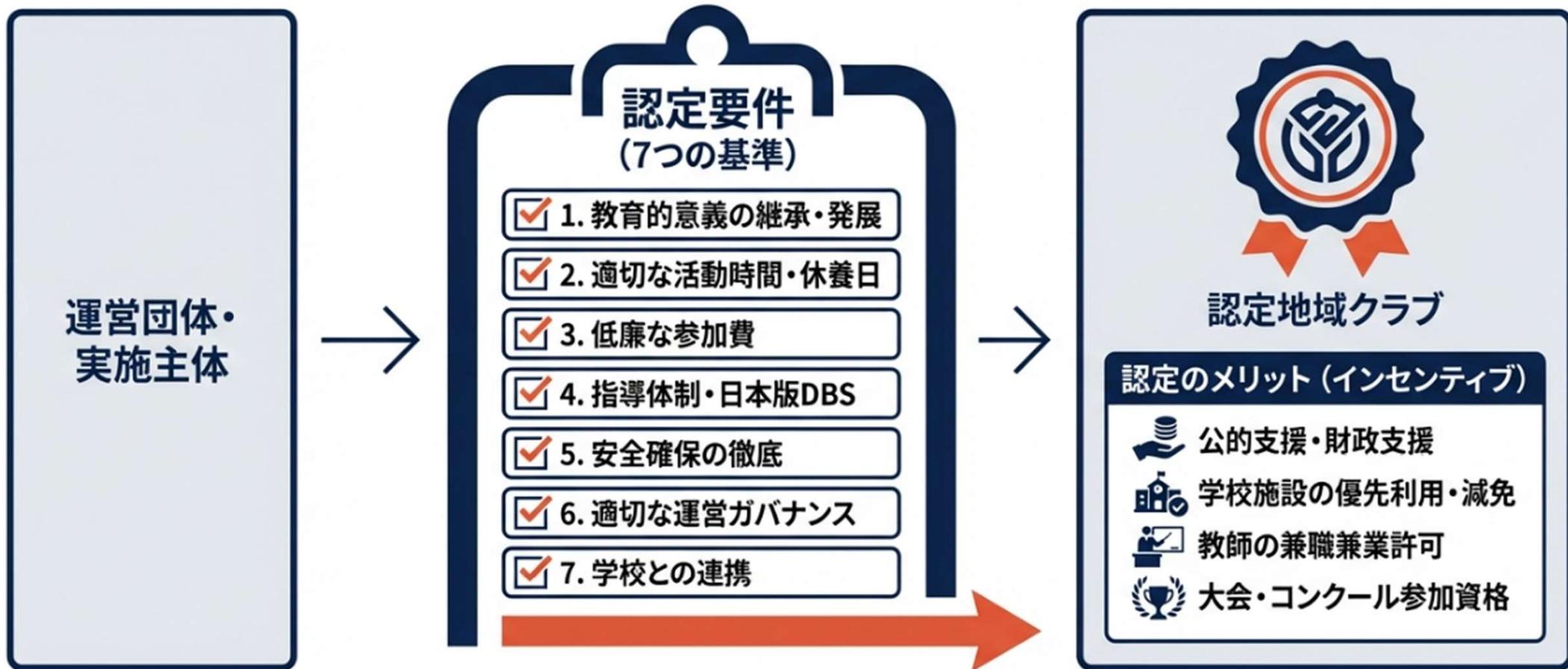
令和8年1月28日 開催

代表者 24名出席



- ・認定地域クラブとして活動を開始する時期について
→ 各団体で検討を進め、必要に応じて事務局へ相談して進める
- ・会場確保のための利用調整方法について
→ 希望が重複する施設については時間調整等により各代表者で調整する
- ・会場確保の優先順位について
→ 学校行事 > 地区行事(毎年の大きい行事) > 中体連主体大会 >
認定地域クラブ活動 = 合同部活動 > 単独部活動(3年生の引退までの活動は各団体優先する)

質の担保と持続可能性:「地域クラブ活動認定制度」の確立



市区町村が責任を持って「質」を保証し、単なる民間ビジネスと区別する公的な仕組み。

休日の地域クラブ活動 運営費支援ガイド

国が休日の地域クラブ活動経費を補助し、子供たちがスポーツ・文化芸術に継続して親しめる機会を確保します。

補助金の仕組み

休日のクラブ活動経費を補助



指導者謝金や消耗品費など、認定された地域クラブ活動の運営費が対象です。

国・都道府県・市区町村で費用を分担



参加生徒5名以上が原則



山間地や離島などの例外を除き、5名未満のクラブは補助対象外となります。

補助単価 (1クラブあたり年額)

補助額はクラブの規模と活動頻度で決定

生徒数、指導者数、月の活動回数に応じて補助単価(上限額)が設定されています。

	月4回程度活動	月3回程度活動	月2回程度活動	月1回程度活動
27人以上・指導者3人以上	ス：673千円 文：691千円	ス：550千円 文：569千円	ス：427千円 文：446千円	ス：305千円 文：323千円
13人～26人・指導者2人	ス：576千円 文：596千円	ス：475千円 文：494千円	ス：373千円 文：393千円	ス：272千円 文：291千円
5人～12人・指導者1人	ス：423千円 文：443千円	ス：356千円 文：377千円	ス：290千円 文：311千円	ス：224千円 文：245千円

塩尻市の部活動地域展開活動の

総称名及びキャッチフレーズについて

いっぴよう き
あなたの1票で決まります!!

ちいき かつどう けいしやうあん
しおじり地域クラブ活動の名称案

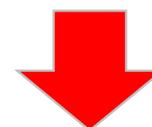
<p>① しおじりユナイト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ユナイト」は「結束(けっそく)する」の意味(いみ)。 ・学校(がっこう) 家庭(かてい) 地域(ちいき) 指導者(しどうしゃ) が一緒(いっしょ) になって活動(かつどう) をささえていくという願(ねが) いをこめました。 	<p>② ネクストしおじり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ネクスト」には「つぎのステージへ」や「新(あたらしい)時代(じだい) の活動(かつどう)」という願(ねが) いをこめました。 	<p>③ クラカツ!しおじり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クラカツ」は「クラブ活動(かつどう)」の略(りやく)。 ・シンプルで分(わ) かりやすく広(ひろ) く伝(つた) わるようにと願(ねが) いをこめました。
<p>④ Shiojiring しおじりんぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しおじり」と「リング(わ)」をかけた造語(そうご)。 ・大(おお) きな輪(わ) のように活動(かつどう) がつながって広(ひろ) がっていきよう願(ねが) いをこめました。 ・ing(イング) =英語(えいご) で「~している」という意味(いみ) も含(ふく) まれています。 	<p>⑤ しおクラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「しおじり地域(ちいき) クラブ」の略語(りやくご)。 ・大人気(だいにんき) ゲーム「マイクラフト」の略語(りやくご) 「マイクラ」にしているため、覚(おぼ) えてもらいやすいと考(かんが) えました。 	<p>⑥ しおカツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「塩尻市(しおじりし)」の「塩(しお)」と「活動(かつどう)」の「活(かつ)」をかけた造語(そうご)。 ・短(みじか) くて覚(おぼ) えやすいと考(かんが) えました。
<p>⑦ えんりんぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「塩尻市(しおじりし)」の「塩(えん)」と「リング(わ)」をかけた造語(そうご)。 ・人(ひと) の縁(えん) が大(おお) きな輪(わ) のようにつながって、広(ひろ) がっていきよう願(ねが) いをこめました。 	<p>⑧ えんクラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「塩尻市(しおじりし)」の「塩(えん)」と「クラブ」をかけた造語(そうご)。 ・「えんばーく」「えんてらす」などにも使(つか) われている「えん(塩・円・縁)」をいれました。 	<p>⑨ えんカツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「塩尻市(しおじりし)」の「塩(えん)」と「活動(かつどう)」の「活(かつ)」をかけた造語(そうご)。 ・「えんばーく」「えんてらす」などにも使(つか) われている「えん(塩・円・縁)」をいれました。

前回の協議会のあと、
11/30 まで投票受付

投票の結果…

② ネクストしおじり

が選出されました!!



- ・ ロゴデザインを考えポータルサイトで周知
- ・ 塩尻市独自の理念設定

ロゴ・デザイン(案)

デザイン案 A



塩尻市の象徴ブドウの実でつながりを表現し、
みんなで協力して成長するイメージ

デザイン案 B



ブドウの房でつながりを表現し、成長していく
イメージを子どもに親しみやすいアニメ調で表現

デザイン案 C



当初デザインを踏襲してロゴ化

塩尻市の独自の理念(案)

キャッチコピー案 A

将来に向けた個々の成長をイメージ

ネクストしおじりとは？

「ひろがる未来、かなえる場所。」

これまで放課後や休日に学校で先生とやっていた部活動が、

これからは地域のクラブ活動に変わっていきます。

これは、生徒のみなさんの人数が少なくなっていく将来でも、
スポーツや文化活動をずっと楽しめるようにするための取り組みです。

地域のみんなで協力して、新しい活動の場を作っていく、

それがネクストしおじりです

サブメッセージは共通

キャッチコピー案 B

地域のつながりから個々の成長をイメージ

ネクストしおじりとは？

「みんなが主役。地域がステージ。」

これまで放課後や休日に学校で先生とやっていた部活動が、

これからは地域のクラブ活動に変わっていきます。

これは、生徒のみなさんの人数が少なくなっていく将来でも、
スポーツや文化活動をずっと楽しめるようにするための取り組みです。

地域のみんなで協力して、新しい活動の場を作っていく、

それがネクストしおじりです